

2011年 7月15日

## 今回のおすすめメニュー

…No Image…

### 『靴を売るシンデレラ』

ジョン・パウアー／著 灰島かり／訳 (小学館)  
【988人 勝連館所蔵】

人生の道路にも、だれかが標識を立ててくれればいいのに。  
「イヤなヤツ出没注意」の標識。  
ばかなことをしそうになると、黄信号が点滅。  
人を傷つけても平気な人の前に行くと、赤信号が点滅。  
正しい行いには、青信号が光り輝く。  
こんなふうなら、生きやすくなるなあ。  
人生って、ときどき難しすぎて、あたしの手に負えなくなる。  
(本文より)

原題は、**RULES OF THE ROAD**。

主人公のジェナは16歳の高校生。グラッドストーン靴店でアルバイトをしています。セールスの才能があり、ミセス・マデライン・グラッドストーン社長に見いだされ、ドライバーとしてひと夏、女社長と旅に出ます。スプリングフィールド、カンザスシティと支店を視察し、最終目的地のテキサスで開かれる株主総会で、社長は、息子に社長の座を引き継ぐことになっていました。しかし、社長の息子は、会社を売却しようと画策していました。

会社をどうやって救うのか、わたしはまったくわかりません。  
でも家族を救うことなら、少しはわかっています。  
信頼する人たちを全員集めて、  
はっきり率直に話して、みんなにもそうしてもらおうです。  
真実には、力があるからです。  
つまり、あの、うちでは長いこと、  
父の飲酒について、だれも文句を言ったりしないで、  
何の問題もないというふりをしていました。  
でも問題があるときには、はっきり言わなくちゃダメです。  
そうすれば真実が明るみに出て、新しい風が吹きます。  
(本文より)

…No Image…

**Hope was here**

同著者の、『希望のいる町』もおすすめ！  
ホープみたいな名前は、よくよく考えたうえで  
ないと選んではいけない、とアディはいった。  
名前にふさわしい生き方をしようと、つねに気  
ばっていなきゃならなくなる、と。(本文より)

【988人 勝連館所蔵】

ジェナと社長たちは、はたして会社を救えるのか？！

YA小説としても楽しめますが、アルコール依存症が家族にあたえる影響について、痛いほど伝わってきます。